

第6回「大立山まつり」の開催について

【開催趣旨】

- 感染症対策を徹底し、三密を作らないwithコロナ時代の新しいモデルとなるイベントを開催
- 県民をターゲットに、大立山まつりに来てもらうことで奈良の魅力を再発見してもらう。

【実施概要（案）】

イベント名： 「大立山まつり2021 奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり」
 開催時期： 令和3年1月30日（土）～1月31日（日） 11：00～18：00（両日とも）
 開催場所： 奈良県コンベンションセンター
 開催内容：

〈ポイント〉

- ・ **感染拡大防止対策の徹底**（三密回避、入場規制、手指消毒、体温チェック、接触確認アプリの利用等）
- ・ **withコロナ時代**にニーズが高まると予想される、「**バーチャル**」技術を駆使し、奈良の魅力を発信
- ・ 前回までのまつりの核となっているコンテンツ（大立山・伝統芸能・各地の紹介）は変えずに実施
- ・ 古代から現代へと続く奈良のヒト、モノ、コトのコンテンツを集め、奈良の魅力を発信

〈コンテンツ内容案〉 ※一度に来場者が集中しないように各コンテンツの開演時間を工夫し、動線の管理も徹底する



テーマ	内容	留意点
(1) まつりの象徴	① 大立山（四天王）の展示	
	② 各地域の立山の展示	
(2) 奈良に続く伝統と文化	③ 県内各市町村の伝統行事等の披露	伝統行事の出演者・観覧者の人数制限・距離確保
	④ 奈良の伝統行事の紹介や聖徳太子没後1400年をテーマにしたシンポジウム	事前予約制にし、参加人数を調整 座席を離し、定員を通常の半分程度に設定
	⑤ 奈良の歴史や文化等の体験・展示企画	
(3) 今の奈良の魅力	⑥ バーチャル等で奈良を体感できるコンテンツ	三密を回避した今後のモデルとなるようなコンテンツを実施
	⑦ 平城宮跡歴史公園と連携した周遊イベント	混雑緩和のため平城宮跡へも周遊できるようにする
	⑧ 地域のあったかもんや特産品の販売	あったかもんは感染症対策を徹底し、主催者が実施（奈良食材をPR） 店舗数・スタッフ数を制限して実施 飲食テントは対面にならないよう工夫
	⑨ 奈良に関するワークショップやトークセッション	事前予約制にし、参加人数を制限 短時間で実施できるコンテンツを実施

【実施内容 レイアウト案】

【開場全体の主な感染症対策】

手指の消毒、マスクの着用、距離確保 等



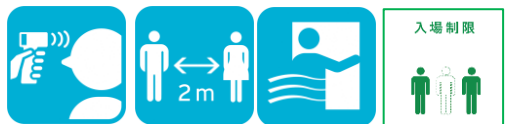
コンベンションホール バーチャルエリア

- 最新のバーチャル技術を活用して奈良の魅力を体感



【主な感染症対策】

- 入場時の体温チェック
- 人数制限
- 距離確保
- 換気徹底



天平広場

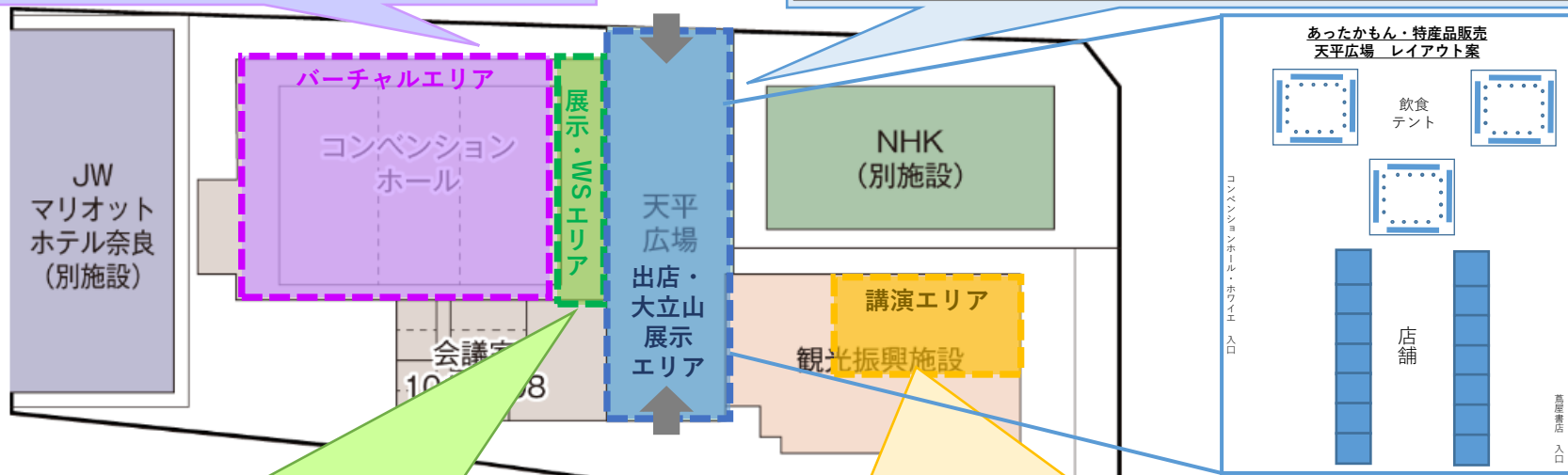
出店・大立山展示エリア

- まつりの象徴である大立山の展示
- 地域のあったかもんの販売
- 地域産品や伝統工芸等の販売



【主な感染症対策】

- 入場時の体温チェック
- 接触確認アプリの導入
- 飲食ブースでの飛沫防止
- 距離確保



コンベンションホール ホワイエ 展示・ワークショップエリア

- 謂われや歴史などを分かりやすく説明した立山の展示
- 奈良らしいワークショップの開催



【主な感染症対策】

- 机・道具等の消毒徹底
- 短時間の実施
- 距離確保、換気徹底



天平ホール シンポジウム・伝統行催事エリア

- 著名人をゲストに、奈良の文化・歴史・伝統行催事をテーマにしたシンポジウムの開催
- まつりの核の一つである伝統行催事の披露
- 現在奈良で活躍している方をゲストに様々なテーマのトークセッションを開催



【主な感染症対策】

- 入場時の体温チェック
- 事前申込制
- 距離確保、換気徹底

